

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.01.31~02.04

記事の詳細は、情報検索サービス
『キジサク』でご覧になれます。

*記事は東京発行・最終版

CHINA

1月31日(月)

中国で生産、低価格スクーター
ホンダ/15万円台

ホンダは、中国で生産することで価格を抑えた排気量50ccの新型スクーター「ジョルノ」を発売した。15万9600円。すでに国内生産を終了している同排気量のスクーターより約4万円安く。(7面)



ホンダ「ジョルノ」は、中国での生産で16万円を切った

大塚製薬工場、中国社に出资
輸液用ラフィルム生産

大塚テクノと大塚製薬工場は、中国で輸液用ラフィルムを製造する南京泰邦生物医用材料に資本参加。中国の輸液製品はガラス瓶からフィルムパックへ容器の転換が進む。(21面)

「中国非難」世界全体が臆病に
人権団体報告書

世界の人権状況に関する年次報告書によると、中国人権団体は「ほぼ世界全体が臆病になっている」と指摘した。ニューヨークの国際人権団体がまとめた。(26面)

春節を前に故郷に向かう人たちで混雑した上海駅(ブルームバーグ)

米で存在感増す - 中国・インド
米大統領/一般教書演説

米国で成長著しい中国、インドなどの存在感が増している。オバマ米大統領は一般教書演説の中で、中国やインド、韓国について繰り返し言及。日本に関してはまったく触れなかった。(26面)

中国ビジネスで定期シンポ

東京投資育成

東京中小企業投資育成は、2011年度に中国ビジネスの経験や課題解決などについて、韓国や台湾、香港、欧米企業経営者らと意見交換する国際シンポジウムを定期開催する。(26面)

2月1日(火)

「春節」を狙え

無料ショッピングバスなど

「春節」を迎え、中国人観光客の取り込みが活発化。JTBグローバルM&Tは、無料のショッピングバスを運行。宿泊者の多い京王プラザホテルなどから秋

葉原、浅草、銀座を回る。(3面)

日立造船、受注目標10基

中国でのゴミ焼却施設

日立造船は、2012年3月期の中国でのゴミ焼却施設の受注目標を10基に設定。中国政府が5年計画でゴミ焼却施設の全土への新設を掲げている。上海事務所と北京出張所の機能を強化。(7面)

黒田電気、香港に合弁

中国GKMと/金型・プレス部品製造

黒田電気は、中国GKMグループと香港に合弁会社「クロダGKM」を設立。金型・プレス部品製造会社を設立する。自動車・家電向けに金型やプレス部品を製造・販売。8月に工場完成。(7面)

2月1日(火)

タテホ、電融マグネシア増産

大連に新工場/2倍、年2万トン

タテホ化学工業は、中国の生産拠点である大連タテホ化學に新工場を建設する。電気ヒーター用電融マグネシアの需要増に対応する。2020年に2倍の年産2万トン体制を構築。(3面)

車載用の電池、中国に売却
パナソニック/湘南工場

2月2日(水)

山善が中国現法

深圳/台灣企業との取引強化

山善は、中国現地法人を4月1日に設立する。台湾の完全子会社の台湾山善が全額出資し深圳に。現在、中国各地の事務所が約200社に対応。中国に進出する台湾企業との取引を強化する。(7面)

車載用の電池、中国に売却
パナソニック/湘南工場

パナソニックは、車載用ニッケル水素電池事業(湘南工場)を中国企業に売却する。三洋電機買収に伴う独禁法審査で、中国当局から第三者への譲渡を求められていた。4000万元(約5億円)。(8面)

上海にモバイルサイトの現法
ディーゼルコミュニケーションズ

ディーゼルコミュニケーションズは、上海に100%出資の現地法人を7月に設立する。モバイル広告の営業支援、モバイルサイト制作など。日系だけでなく、現地企業へも展開する。(9面)

和泉会議所、共同購買ツアーアイ

中小の調達支援/問屋やデパートから

大阪府の和泉商工会議所は、中小企業の海外進出を支援。まず、小売業者による共同購買ツアーアイを実施。和泉市内の雑貨店や衣料店など約20社が、浙江省の問屋やデパートから買い付ける。(25面)

2月3日(木)

ソニー、中国企業を買収

エプソンから/液晶事業拡大

ソニーは、セイコーエプソンから、中國で中小型液晶ディスプレー製造の後工程を行なう100%子会社、蘇州愛普生を買収する。7億7500万元(約90億円)。スマートフォン向けを拡大。(3面)

河合楽器、調律師の育成施設

寧波工場/4位一体体制

河合楽器製作所は、中国工場の河合樂

中国国家大劇院に導入された
河合楽器のピアノ

の20人に増員する。中国生産シフトが進んでいる日系自動車メーカーを中心に、EMC測定システムを拡販。(7面)

日本式農業、中国で支援

三井住友銀・日本総研/技術供与
三井住友銀行は日本総研研究所と連携し、中国での日本式農業の普及に乗り出す。自治体などに日本の優れた農業生産技術を提供。上海の富裕層を中心に、日本の高品質な農産物にニーズ。(21面)

TEL OP

上海の日東电工子会社株を取得
TDK、65%(1日3面)レンゴー、中国2社を子会社化
成長戦略市場の展開加速(3日12面)プロミス、瀋陽に全額出資子会社
中国で事業強化(3日21面)

ひと

満開になれ!

中国がGDPで世界第2位に。一人当たりのGDPは、「3000ドルで絵の具が売れ、5000ドルでボールペンなど筆記具が売れ始める」と、大阪商工会議所副会頭(サクラレバ社長)の西村貞一さん。今の中国は絵の具の市場だ。「早く筆記具の市場になって、サクラブランドが満開になれ」と期待する。(2日=25面)

2月4日(金)

椿本チエイン、日中に新工場棟
タイミングチェーンドライブ

椿本チエインは、2013年度に自動車エンジン用タイミングチェーンドライブシステムの生産能力を世界で3割以上に増強。09年は1100万台。日本と中国は新工場棟、米国は生産ライン増設。(5面)

中国の部品在庫見える化

日立建機/代理店にシステム

日立建機は、中国の販売代理店へのサービス・部品販売管理システム導入を始めた。2011年中に26代理店に導入する。部品在庫やアフターサービスの詳細な履歴を見える化。(6面)

東陽テクニカ、従業員2倍
EMC測定システム拡販

東陽テクニカは、中国現地法人の東陽精測系統の従業員を2013年度までに2倍

「光」海外展開の下地

「海外事業を将来の収益基盤に育てたい」と力を入れるのは、NTTアドバンステクノロジ社長の花沢隆さん。通信インフラ整備が加速する中国で、光ファイバーネットワーク設計のノウハウ提供を視野に入れ、「NTTグループの海外展開の下地づくりにも貢献する」。(3日=9面)

ASIA

1月31日(月)

ユタカ技研、インド工場を増強
排気系部品/ホンダの小型車

ユタカ技研は、インド工場を増強。4輪車用はホンダの新興国向け小型車への供給に備え、排気系部品の生産能力を高めた。2輪車用はブレーキディスクを年150万台に倍増した。(7面)

ホーチミン地下鉄の車両に応札
日立・三菱重工・川重・東芝

日立製作所、三菱重工業、川崎重工業、東芝の四つの日本連合がベトナムのホーチミン地下鉄プロジェクト向け車両に応札した。供給数は51両で、工事も含めた総事業費は500億円規模。(8面)

富士ゼロックス、ベトナム拡充

カラー複写機好調/販社員60人

富士ゼロックスは、ベトナム事業を拡充。ホーチミンの販売会社を20%増の約60人に増員。カラー複写機・複合機やアフターサービスなどが好調。成長市場の開拓速度を上げる。(10面)

ヤマト、10国・地域で展開

9ヵ年計画/宅配便50%増約20億個

ヤマトHDが、2020年3月期に宅配便50%増の約20億個などを目標にした9ヵ年計画。国内を掘り起こし、現在の上海とシンガポールでの宅配便を10カ所以上の国や地域で展開する。(21面)

信州ハム、ベトナム進出

スーパーで/中間層から富裕層

信州ハムは、ニチレイフレッシュ、豊田通商とベトナムでハム・ソーセージを販売する。都市部を中心に冷蔵庫が普及、中間所得層から富裕層をターゲットに、スーパーなどで販売。(21面)

興和、印アダニと提携

エヌルギー分野など

興和と印アダニグループは、日本とインド事業で包括的提携。第1弾としてアダニは日本製タグボート5隻調達。興和は医薬品のほかに総合商社としてエネルギー、港湾開発など展開。(21面)

2月1日(火)

タチス、タイ40%増強

車用シート/日産向け20万台分

タチスは、タイで自動車用シートの生産能力を約40%増強した。ミアリとの合併が工場を取得。ラヨーン工場からライアンを移管。日産自動車の現地工場向に年約20万台分。(5面)

横浜ゴム、フィリピンに新工場

2.4倍、年1700万本/北米向け

横浜ゴムは、フィリピンに乗用車用タイヤの新工場を建設する。現状年700万台の生産能力を段階的に高め、2017年に2.4倍の年1700万台に。主に北米向けのタイヤを生産。総投資500億円。(5面)

トーカロ、台湾に合弁

半導体・液晶製造装置部品の溶射受託

トーカロは、台湾の漢泰科技と半導体・液晶製造装置部品の溶射や洗浄、アルマイドなどの加工受託を行う合弁企業を4月に設立する。技術指導しながら現地顧客に現場で対応する。(12面)

日中韓、製販の3極体制

マグネットテックジャパン

マグネットテックジャパンは、製造・販売の日中韓3極体制を確立する。韓国W S

Mに資本参加。中国では、合弁会社の経営を主導する。磁力応用製品の市場開拓を加速する。(27面)

インドネシアに現法

ウォーカーブレインズ/IT支援

ウォーカーブレインズは、インドネシア・ジャカルタに現地法人を設立する。インドネシアに進出した日本の中小製造業向けにシステム開発などIT支援サービスを提供する。(27面)

2月2日(水)

グッドデザイン賞、印で展開

家電や産業機械/90点を展示

経済産業省は、インドでグッドデザイン(GD)賞の海外展開に乗り出した。第1弾として3月4日からデリー市内で展示会。家電や産業機械などGD賞の最新製品約90点を展示する。(2面)

「アジアを代表する証券」に

大和証券グループ/日比野次期社長

大和証券グループ本社の日比野隆司次期社長は、「社員や家族が誇りを持てる、アジアを代表する証券グループを目指す」と抱負。「アジア戦略は早急に利益を出せるように」と意気込み。(3面)

ホンダ、2輪増産

印新工場倍増120万台/ベトナム拡張

ホンダは、新興国で2輪車の生産能力を大幅に引き上げる。ナッシュアリアは5倍。インドは建設中の第2工場を当初計画の年60万台から倍増の年120万台に。ベトナムの第2工場も拡張。(5面)

ホンダ・2輪車工場の主な増産計画

生産国/現行生産能力/設備増強後

生産国	現行生産能力	設備増強後
インドネシア	350万台	400万台
ベトナム	150万台	200万台
インド	165万台	285万台
ブルガリア	150万台	200万台
ナイジェリア	15万台	20万台以上

年産/検討中の案件を含む